

警

防

一 目 統 計

平成18年中

火 災 件 数		119件
損 害 額		932,595千円
出 火 率		3.6
建 物 焼 損 床 面 積		4,534㎡
建 物 焼 損 表 面 積		270㎡
最も多かった火災原因	放火（疑い含む）	32件

火災種別件数

建 物 火 災		77件
林 野 火 災		2件
車 両 火 災		13件
船 舶 火 災		0件
そ の 他 火 災	(27件中 枯草火災 7件)	27件

火災多い少ない

火災の多かった月	3月	18件
火災の少なかった月	6月	3件
火災の多かった時間帯	9時～10時	10件
火災の少なかった時間帯	7時～8時	0件
火災の一番多かった日	8月22日、11月8日	3件

平成18年中の火災概要

1 火災の概要

平成18年中の火災は、119件で昨年の118件と比較して1件の増となり、ほぼ横ばいの件数となった。

火災種別では、建物火災が77件と全火災の64.7%を占め、車両火災が13件で10.9%、林野火災が2件で1.7%、その他火災が27件で22.7%となった。

火災の損害は、焼損床面積が4,534㎡、焼損棟数が104棟、損害額が9億3,259万5千円、死者が8人、負傷者が23人（うち30日死者が2人）となった。

損害額は、前年の2億4,822万1千円と比較して大幅な増加となり、過去10年間で2番目に多くなった。これは、大規模工場火災が発生したことが要因となっている。焼損床面積も、前年の2,186㎡と比較して大幅な増加となり、過去10年間で4番目に多くなった。これも上記と同様の要因であった。

出火率（人口1万人当たりの出火件数をいう。）は、3.6で、前年と同数となった。月別発生状況は、3月が18件と最も多く、次いで1月と2月が12件となった。一方、6月が3件と最も少なかった。

2 出火原因

出火原因は、放火（放火の疑いを含む。以下同じ。）が32件と全体の26.9%を占め、昨年に引き続き出火原因の第1位である。続いて、たばことこんろがそれぞれ10件で8.4%、電気機器（配線含む）とたき火が8件で6.7%となった。

3 火災による死者

火災による死者は、7件の火災で8人発生し前年より2人の増加となった。死者の発生した経過別では、放火自殺によるものが4人、逃げ遅れが3人、狼狽によるものが1人となった。

4 火災による負傷者

火災による負傷者は、18件の火災で23人発生し、前年の26人と比較して3人減少した。

5 初期消火の実施

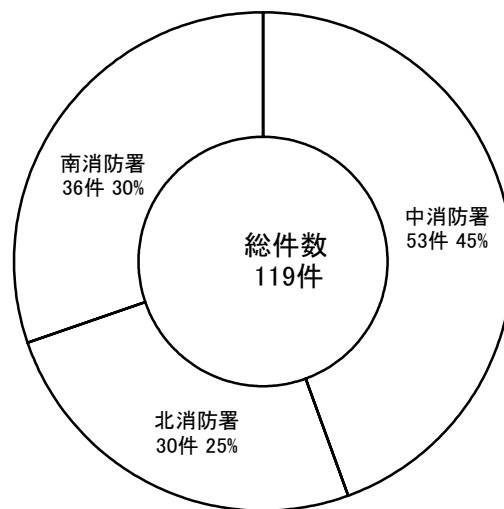
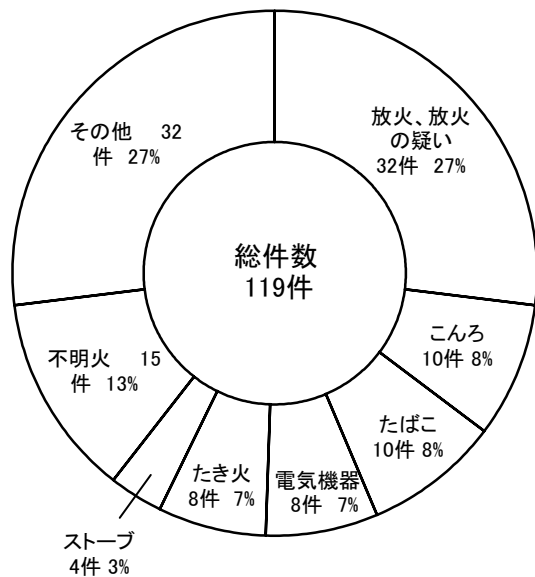
119件の火災において77件の初期消火が実施され、成功かつ効果ありは41件となっています。これらの状況から初期消火は定着してきているが、効果的な初期消火が必要である。

初期消火器具	消火器	水バケツ等	水道ホース	濡れタオル等	その他
実施件数	33	11	18	4	9
成功・効果あり	13	6	11	2	4

火 災 概 要

(平成18年中)

火 災 件 数	119 件
建 物 火 災 件 数	77 件
建 物 以 外 火 災 件 数	42 件
建 物 焼 損 床 面 積	4,534 m ²
建 物 焼 損 表 面 積	270 m ²
林 野 焼 損 面 積	71 a
損 害 額	932,595 千円
死 者	8 人
30 日 死 者	2 人
負 傷 者	21 人

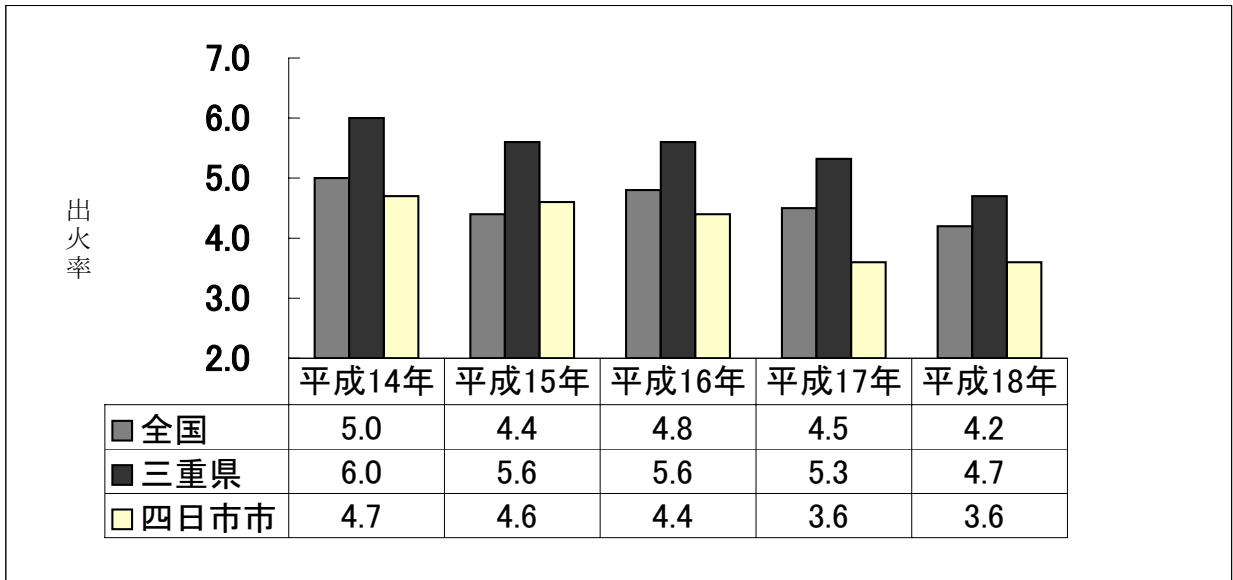


火 災 発 生 状 況 比 較

区 分	年 別	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
	全 国	火 災 件 数	63,575	56,329	60,394	57,487
出 火 率		5.0	4.4	4.8	4.5	4.2
一件当たり損害額 (千円)		2,737	2,581	2,234	2,741	2,189
三 重 県	火 災 件 数	1,119	1,037	1,044	989	892
	出 火 率	6.0	5.6	5.6	5.3	4.7
	一件当たり損害額 (千円)	2,202	2,072	2,775	1,681	2,340
四日市市 (朝日、 川越町含)	火 災 件 数	152	151	146	118	119
	出 火 率	4.7	4.6	4.4	3.6	3.6
	一件当たり損害額 (千円)	3,260	1,191	4,887	2,104	7,837

$$\text{出火率} = \frac{\text{出火件数}}{\text{人口}} \times 10,000$$

出 火 率 比 較



月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

(平成18年中)

火災状況 月・曜日		出火件数						焼損棟数				焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)										
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(㎡)	建物 表面積(㎡)	林野 面積(a)	死者	負傷者	計	全損		半損	小損	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
合計		119	77	2	13		27	105	20	11	43	31	4,534	270	71	8	23	60	17	8	35	141	932,595	911,272				4,071			13,210	4,042
月別	1月	12	7		2		3	10	1		8	1	158	100	50	4	3	11	5		6	20	6,679	5,519			1,160					
	2月	12	7	1	1		3	12	5		5	2	690	6			4	5	3		2	15	82,367	81,981			138			248		
	3月	18	9	1	1		7	13	3	2	5	3	559	55	21		6	7	1	1	5	17	121,046	109,530			128			11,388		
	4月	10	8		1		1	12	2	2	7	1	364	25			1	9	2	4	3	20	71,846	71,213			33			600		
	5月	9	8		1			13	3	2	3	5	2,045	11		1	2	6	1	2	3	12	572,995	572,272			615			108		
	6月	3	2					3		1	1	1	116				2	3	1	1	1	9	13,228	13,228								
	7月	10	6		1			6	1		2	3	205	1			2	3			3	6	14,109	13,969			48			92		
	8月	10	5					5	5	1		4	6	1		1		1			1	3	1,243	896						347		
	9月	9	8		1			9	2	1	4	2	107	3				3			3	8	12,595	12,594			1					
	10月	8	4		1			5		1	1	3	40	7				1			1	2	8,506	4,037			76			351	4,042	
	11月	11	8		3			11	2	1	3	5	223	7		2	3	8	4		4	21	21,242	19,520			1,646			76		
	12月	7	5		1			6		1	4	1	21	54				3			3	8	6,739	6,513			226					
不明																																
合計		119	77	2	13		27	105	20	11	43	31	4,534	270	71	8	23	60	17	8	35	141	932,595	911,272			4,071			13,210	4,042	
曜日別	日曜日	15	11		2		2	19	5	1	9	4	379	148		1	1	11	4	2	5	22	69,684	68,137			1,191			356		
	月曜日	19	11	1	1		6	11	1		9	1	392	5	21		2	6			6	16	34,972	33,933			33			1,006		
	火曜日	11	6	1			4	8	3	1	2	2	1,942	9			1	1			1	4	543,671	543,669						2		
	水曜日	14	11		1		2	12		2	5	5	188	10	50	1	4	9	3		6	25	25,565	25,322			226			17		
	木曜日	21	10		4		7	14	1	2	7	4	298	58		4	5	12	4	3	5	22	28,764	19,483			1,739			3,500	4,042	
	金曜日	20	15		2		3	18	5	1	5	7	794	6		2	3	10	3	1	6	29	153,258	145,491			86			7,681		
	土曜日	17	11		3		3	21	5	4	4	8	541	29			7	10	3	2	5	21	76,655	75,211			796			648		
不明	2	2					2			2			5				1			1	2	26	26									
合計		119	77	2	13		27	105	20	11	43	31	4,534	270	71	8	23	60	17	8	35	141	932,595	911,272			4,071			13,210	4,042	
時間帯別	0～1時	2	2					3	1		2		288			1		3	1		2	4	41,480	41,372						108		
	1～2時	3	2		1			2			2		47			2	1	3	1		2	5	3,699	3,596			103					
	2～3時	5	5					8	3	1	2	2	217	10		2	2	4	4		6	18,814	18,736						78			
	3～4時	7	6				1	6			1	5	45	1				2			2	5	10,701	10,701							351	
	4～5時	3	1				2	2				2											355	4								
	5～6時	5	4				1	5	1		3	1	151	50				2		1	1	5	53,386	53,361			25					
	6～7時	4	4					5	2	1	1	1	465			1	4	4	2		2	7	41,306	41,306								
	7～8時																															
	8～9時	5	4		1			4			3	1	35					3			3	9	11,429	11,428			1					
	9～10時	10	8		2			8			4	4	36	15				4	5	1	4	12	2,822	2,704			118					
	10～11時	6			2		4								50								3,443				81			3,362		
	11～12時	8	5		1		2	15	6	2	6	1	2,257	37				5	8	3	2	3	578,698	577,605			645			448		
	12～13時	5	5					5	2		1	2	138	2				1	2	1	1	4	24,366	24,326						40		
	13～14時	4	1	1	1		1	1				1		1				1	1		1	4	112	112								
	14～15時	7	4	1	1		1	7		2	3	2	132	54	21	1	2	4	1	1	2	12	17,241	17,165			76					
	15～16時	4	3				1	3		1	2		88	1				4		2	2	8	8,937	4,895							4,042	
	16～17時	5	2		1		2	2			1	1	15					1			1	6	2,866	1,706			1,160					
	17～18時	6	5				1	5		1	2	2	47					1	2		1	4	2,523	2,523								
	18～19時	4	2				2	3	1		1	1	150	7			1	1			1	3	708	679						29		
	19～20時	3	1				2	1				1		1									155							155		
	20～21時	8	5		1		2	8	1	2	5		158	83		1		5	2	1	2	13	55,316	47,561			226			7,529		
	21～22時	3	2				1	2			1	1	30	1				2			2	7	4,641	4,641								
	22～23時	4	2		2			3	1			2	9					1			1	2	2,108	472			1,636					
	23～0時	4	2				2	5	2	1	1	1	226	2			1	2	1		1	6	46,846	46,353						493		
不明	4	2				2	2			2			5				1			1	2	643	26						617			

出火原因別火災発生概況

(平成18年中)

原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災 人員	損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	建物	林野	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
													床面積(m ²)	表面積(m ²)	面積(a)															
合計	119	77	2	13			27	105	20	11	43	31	4,534	270	71	8	23	60	17	8	35	141	932,595	911,272		4,071			13,210	4,042
たばこ	10	10						15	4	3	7	1	659	9		1	3	11	3	2	6	31	112,291	112,188					103	
こんろ	10	10						10			5	5	78	5			5	8	1		7	25	10,031	10,031						
かまど																														
風呂かまど																														
炉	1	1						1		1			20										164	164						
焼却炉	1						1																600						600	
ストーブ	4	4						8	2	1	3	2	112	11		4	5	1	1	3	13	10,347	9,732		512				103	
こたつ																														
ボイラー																														
煙突・煙道	1	1						1				1		1			1				4	112	112							
排気管	1			1																			1,160		1,160					
電気機器	2			1			1															81							80	
電気装置																														
電灯・電話	5	5						5		1	3	1	63	3			3		1	2	8	5,784	5,784							
等の配線																														
内燃機																														
配線器具	1			1																			33		33					
火あそび	4	2					2	2	1		1		49	12			1	1			2	2,832	2,832							
マッチ・ライター	2	1					1	2			2			1		1					1	26	1						25	
たき火	8		2	2			4	1			1			4	21		1					227	18		209					
溶接機・切断機																														
灯	1	1						1			1		20				1				1	1,613	1,613							
衝突の火花																														
取	1						1															17							17	
火入れ																														
放	14	9		2			3	11	2	1	4	4	484	7		3	1	7	5		2	10	67,601	66,609		121			871	
放火の疑い	18	11		1			6	12	2		3	7	94	3		1	4				4	9	18,837	18,511		226			100	
その他	20	12		1			7	21	5	3	7	6	2,264	83		4	9	2	3	4	18	601,589	586,226		10			11,311	4,042	
不明	15	10		4			1	15	4	1	9	1	691	131	50	3	4	9	4		5	19	99,250	97,451		1,799				

過去10年間 年別主な火災原因

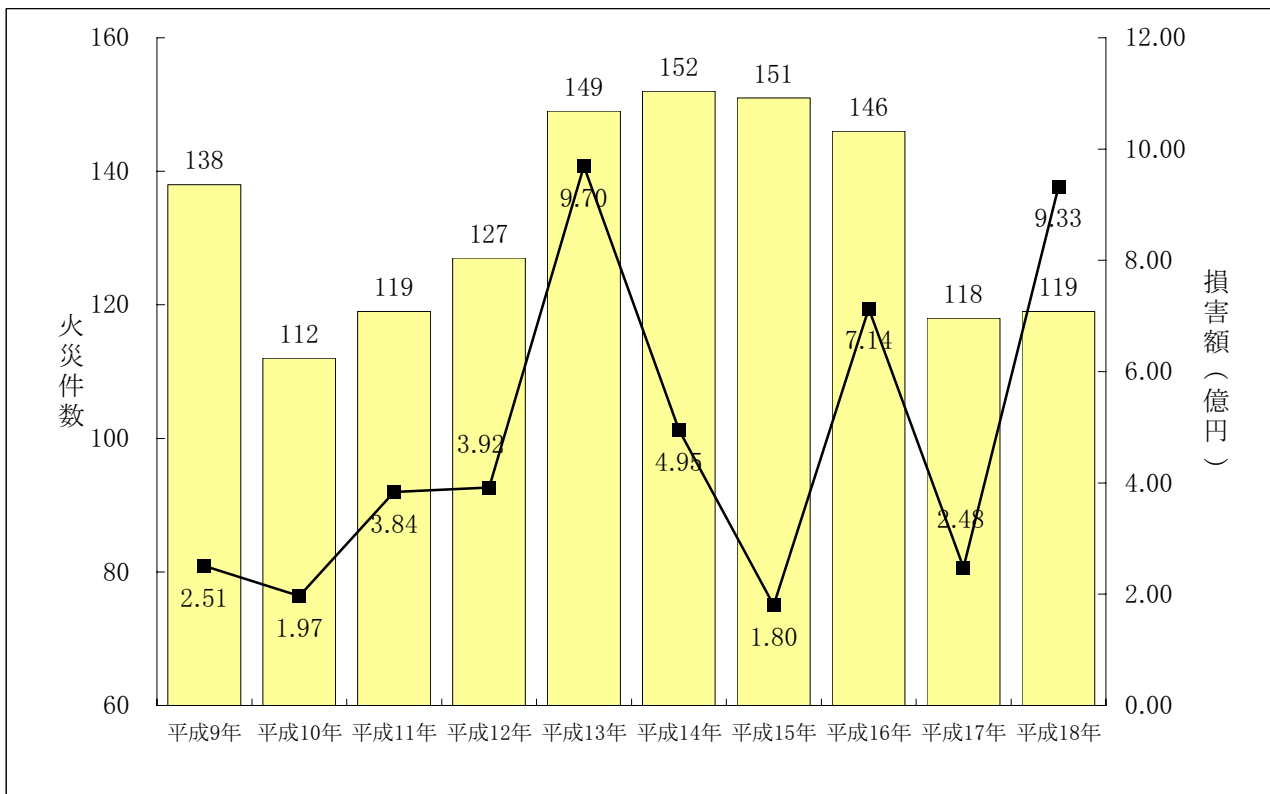
年 別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成 9年	138件	放 火 35件 (放火の疑い含む)	た き 火 19件	た ば こ 18件
平成10年	112件	放 火 24件 (放火の疑い含む)	た ば こ 16件	こ ん ろ 18件
平成11年	119件	放 火 の 疑 い 16件 放 火 9件	た ば こ 13件	た き 火 15件
平成12年	127件	放 火 の 疑 い 20件 放 火 8件	た ば こ 17件	た き 火 13件
平成13年	149件	た き 火 28件	放 火 22件 放 火 の 疑 い 4件	た ば こ 13件
平成14年	152件	た き 火 30件	放 火 30件 放 火 の 疑 い 含む	こ ん ろ 19件
平成15年	151件	放 火 の 疑 い 含む 47件	た き 火 19件	た ば こ 13件
平成16年	146件	放 火 の 疑 い 含む 42件	た き 火 17件	た ば こ 17件
平成17年	118件	放 火 の 疑 い 含む 34件	電 気 機 器 9件	た ば こ 9件
平成18年	119件	放 火 32件 放 火 の 疑 い 含む	こ ん ろ 10件	た ば こ 10件

過去10年間の火災発生状況

区分 年別	火 災 件 数						損害額 (千円)	損 害 面 積		死 傷 者	
	合 計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物焼損 表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者
平成9年	138	71	2	17		48	251,043	3,344 <849>	44	6	22(1)
平成10年	112	69	2	19		22	196,697	2,637 <387>	12	5	15(1)
平成11年	119	65	1	20		33	383,555	3,789 <595>	2	5	10
平成12年	127	58	4	32	1	32	391,514	3,126 <201>	39	4	19
平成13年	149	76	2	25		46	969,521	11,647 <317>	14	6	27
平成14年	152	80	8	23	1	40	495,482	4,717 <375>	76	4	29
平成15年	151	74	9	28		40	179,937	1,835 <757>	341	8	22
平成16年	146	68	6	28		44	713,516	6,823 <396>	60	8	19
平成17年	118	61	1	19		37	248,221	2,186 <265>	1	6	26
平成18年	119	77	2	13		27	932,595	4,534 <270>	71	8	23
平 均	133	70	4	21	0	32	451,104	<4216> <460>	62	5	18

平均の小数点以下は四捨五入

※< >は建物焼損表面積



海上・沿岸防災等（出動状況）

（平成18年中）

種 別	月 別	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
災 害 出 動	火 災	0												
	水難救助	8		1		1	1			1	1	1	2	
	流出油	0												
	その他	0												
警 防	警 備	2								2				
	警 戒	1		1										
	警防調査	4			1		3							
	その他	0												
予 防	広 報	0												
	予防調査	0												
	その他	0												
訓 練	災害防御	0												
	航 海	3	1			1			1					
	操 船	11	5	3			2	1						
	水難救助訓練	54	3	2	2	3	2	9	6	4	5	7	7	4
	その他	1	1											
合 計		84	10	7	3	5	8	10	7	7	6	8	9	4

火災・救助以外の消防車両の出動

平成18年中

分類	件数	説明
交通支援	165	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	120	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たきび	37	たきび等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	37	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他油漏	19	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	5	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	50	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	7	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	22	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	75	火災調査の結果、火災に至らないもの
捜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う捜索等による出動
その他	26	「警戒」から「捜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	563	

消 防 水 利 状 況

(平成19年4月1日)

	合 計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他						
		小計	工業用水		上水道		小計	100	60	40	100	40	40	小計	井戸	プールの	池沼	河川	海運河	
			双口	単口	双口	単口		m3耐震	m3耐震	m3耐震	m3以上	m3以上	m3未満							
合 計	6489	5768	85	82	72	5529	501	39	24	117	8	209	104	220	49	68	15	70	18	
中消防署管内	共 同	153	139	0	1	4	134	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
	同 和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	中 央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
	港	130	116	5	4	2	105	6	2	0	0	1	1	2	8	0	0	0	0	8
	浜 田	265	244	4	1	7	232	15	5	0	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
	橋 北	149	128	1	5	6	116	12	3	0	2	0	4	3	9	3	3	0	3	0
	海 蔵	217	201	1	0	2	198	11	1	1	4	0	4	1	5	0	2	0	3	0
	常 磐	294	267	10	7	7	243	15	0	1	3	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	川 島	199	178	0	0	2	176	18	0	1	1	0	14	2	3	0	1	1	1	0
	神 前	206	188	0	0	1	187	15	0	0	4	1	6	4	3	0	3	0	0	0
	桜	287	257	0	0	5	252	22	0	0	6	0	13	3	8	0	3	0	5	0
	県	239	204	0	0	1	203	27	0	0	5	0	16	6	8	0	2	0	6	0
	三 重	411	364	6	5	6	347	35	0	0	14	0	13	8	12	0	6	0	6	0
小 計	2624	2350	27	23	45	2255	191	17	3	43	3	90	35	83	15	27	1	32	8	
北消防署管内	羽 津	296	274	4	17	10	243	14	2	1	1	0	6	4	8	2	3	1	1	1
	富 田	242	215	4	2	0	209	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
	富州原	245	214	6	1	0	207	15	3	0	8	0	3	1	16	7	2	0	0	7
	大矢知	288	266	0	1	3	262	16	0	1	8	0	3	4	6	3	2	1	0	0
	八 郷	285	251	3	3	0	245	31	0	0	5	0	18	8	3	0	3	0	0	0
	下 野	204	184	1	0	0	183	17	0	0	8	0	3	6	3	0	2	0	1	0
	保 々	257	219	0	0	0	219	34	0	0	5	1	18	10	4	0	2	1	1	0
小 計	1817	1623	18	24	13	1568	137	7	3	39	2	52	34	57	21	17	3	6	10	
南消防署管内	塩 浜	245	214	9	14	3	188	16	6	1	3	1	4	1	15	8	3	1	3	0
	日 永	302	269	15	6	8	240	16	3	0	3	1	6	3	17	4	4	1	8	0
	四 郷	352	323	0	4	2	317	17	2	1	2	0	7	5	12	0	6	0	6	0
	内 部	331	293	0	2	1	290	28	0	1	4	0	14	9	10	1	3	1	5	0
	河原田	148	124	5	5	0	114	17	1	0	6	0	9	1	7	0	3	0	4	0
	小山田	213	174	0	0	0	174	28	0	0	3	0	15	10	11	0	2	5	4	0
	水 沢	160	139	0	0	0	139	15	0	0	4	1	6	4	6	0	1	3	2	0
	楠	297	259	11	4	0	244	36	3	15	10	0	6	2	2	0	2	0	0	0
小 計	2048	1795	40	35	14	1706	173	15	18	35	3	67	35	80	13	24	11	32	0	
三 重 郡	朝 日	256	204	0	13	9	182	49	0	0	5	0	23	21	3	0	3	0	0	0
	川 越	482	454	2	6	1	445	16	0	0	11	0	5	0	12	2	4	0	6	0

開発行為に関する事前協議等について

1 概要

地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、四日市市域内で都市計画法（昭和43年法律第100号）の規定による開発行為を行う者に対し、公共公益施設の整備等に特別の協力を求め、及び指導し、もって住みよい街づくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的とし制定された四日市市宅地開発指導要綱に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防御活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導するものである。

		平成17年度	平成18年度
審査件数		107件	98件
指導内容	水利関係	5件	14件
	消防活動用空地	3件	1件
	その他	0件	0件
	指導件数 合計	8件	15件

自主防災組織の育成

(市民防災隊)

防災機関の第一線である消防機関は、増大する災害の危険性に備えて、その機能強化を図っていますが、大地震が発生した場合は、電話の不通、道路の陥没、隆起、火災の同時多発、水道間の破損などにより消防機関の消火、救急、救護活動は、その機能を十分に果たせなくなり、被害地域のすべてに対応することが困難になります。

このような事態に直面した時に初期消火、救出救護、避難誘導などの活動を行うことができるのは、被災地の住民以外にはなく、このような「自分たちのまちは、自分たちで守る」という理念に基づいて防災活動を行うための組織が「自主防災組織」です。

本市においては、昭和53年から自主防災組織づくりを推進し、主に臨海部を中心に耐震性の100t貯水槽と可搬式小型動力ポンプを配備した市民防災隊36隊が組織されています。

昭和60年には、市民防災隊が相互に連絡協調を図り、広く防災思想の普及高揚に勤める目的で「四日市市民防災隊連絡協議会」を結成し、訓練・防災研修会等の活発な活動を実施しています。

● 市民防災隊の活動について

地震の大災害が発生した場合に、すばやく能率的に防災活動を行って自分たちの生命や財産を守ることができるように市民防災隊では、それぞれの役割を具体的に決めています。

現実の災害には、情報の収集伝達を行う情報収集班、可搬式小型動力ポンプや消火器等による初期消火活動を行う消火班、負傷者が発生した場合に救出救護活動を行う救出救護班、住民の避難誘導を行う避難誘導班の四つに分けて防災活動を行います。

● 実災害にそなえて

実際に災害が発生したときは、思うように身体が動かないものです。そのような時に落ち着いて、しかも安全に行動ができるような防災について学んだ知識を生かして、実際に活動するために、普段から協力して訓練を実施しています。

訓練には、情報伝達収集訓練、消火訓練、救出救護訓練、避難誘導訓練、炊き出し訓練などがあります。

● 各隊の装備品

- ・ 過搬式動力消防ポンプ（台車付き、C-1級）
- ・ 100t耐震性貯水槽
- ・ 防火外套・ヘルメット・簡易救助資器材・担架 他

耐震性貯水槽等設置場所

(100t)

(平成19年4月1日)

地区名	設 置 場 所		設置 年度	地区名	設 置 場 所		設置 年度
浜 田	鵜の森一丁目	鵜の森公園	53	共 同	堀木二丁目	堀木公園	58
港	稲 葉 町	納屋公園	53	橋 北	川原町	川原町公園	58
塩 浜	馳 出 町	馳出公園	53	共 同	西浦一丁目	西浦公園	59
浜 田	曙町	曙公園	54	浜 田	西浜田町	西浜田公園	59
橋 北	新浜町	三滝公園	54	四 郷	笹川五丁目	笹川公園	59
羽 津	八田二丁目	地藏堂前	54	日 永	前田町	市営住宅	59
富洲原	富田一色町	海浜公園	54	共 同	中部	中部公園	60
塩 浜	御菌町	御菌神社	54	富 田	富田浜町	富田浜公園	60
浜 田	諏訪栄町	諏訪公園	55	四 郷	笹川九丁目	笹川六号公園	60
港	南納屋町	南納屋公園	55	羽 津	別名四丁目	別名公園	61
富洲原	松原町	松原公園	55	日 永	日永一丁目	大瀬古子供広場	61
橋 北	滝川町	滝川公園	56	河原田	川尻町	川尻町公民館前	61
富洲原	天力須賀	天力須賀公園	56	浜 田	三栄町	三栄公園	62
塩 浜	磯津町	磯津公会所前	56	海 蔵	東阿倉川町	海蔵神社	62
浜 田	新正二丁目	新正中公園	57	塩 浜	海山道一丁目	海山道神社前公園	62
富 田	東富田町	海浜公園	57	中 央	元新町	四ツ谷公園	63
塩 浜	小浜町	小浜公園	57	塩 浜	七ツ屋町	七ツ屋広場	63
中 央	栄町	中央公園	58	日 永	六呂見町	六呂見公園	63

防災教育センター利用状況

【概要】

平成9年4月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、市民の皆様方に防災に関する知識や技術を高め、その行動を楽しみながら体験学習をして頂くことを目的として開設しました。

1階の防災展示体験室には、種々な体験資材を揃え楽しんで学習ができる施設を備えてあり、2階の防災センターには、視聴覚設備を利用して防火に関する種々なビデオテープを活用し、防災意識を高めて頂いたり、また、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、多くの市民の方々に防災意識を高めて頂くよう利用の促進に努めていきたいと考えております。

平成18年度

月別	区分	防 災 展 示 体 験 室												防災センター		
		消防施設見学		自 主 防災隊	消防関係 団 体	自治会	会社 関係	行政 関係	他都市 視 察	家 族		個 別		小計	小計	累計
		保育園 幼稚園	小中高 学 校							子 供	大 人	子 供	大 人			
4月	件数				2		2		8					12	2	
	人員				14		20		30					64	50	
5月	件数						3		6			2		11	7	9
	人員						53		64			2	1	120	131	181
6月	件数	1	2				1		2	6		4		16	8	17
	人員	122	79				22		5	10	10	7	2	257	298	479
7月	件数	1	1						5	5		8		20	16	33
	人員	11	95						30	9	5	25	11	186	326	805
8月	件数	2	1				1		11	4		9		28	7	40
	人員	124	6				1		48	6	6	32	11	234	201	1006
9月	件数	1	3						6	1		2		13	4	44
	人員	123	11						50	2	2	6	1	195	181	1187
10月	件数	3	5		1				4	3		2		18	9	53
	人員	164	306		4				30	6	5	6	1	522	594	1781
11月	件数	6	3	1	1				1	41		3		56	8	61
	人員	268	319	17	5				3	82	62	14	2	772	390	2171
12月	件数	3	1									4		8	2	63
	人員	219	108									6	3	336	24	2195
1月	件数	2					1		1			1		5	6	69
	人員	206					15		4			3		228	272	2467
2月	件数	2	2						3	1		1		9	5	74
	人員	98	10						6	1	2	4		121	119	2586
3月	件数	2							2			2		6	8	82
	人員	108							110			3	1	222	225	2811
合計	件数	23	18	1	4	0	8	0	49	61		38		202		82
	人員	1443	934	17	23	0	111	0	380	116	92	108	33	3257		2811

※ 防災展示、体験者数月平均 271人 防災センター月平均利用者 234人

四日市市防災指導員制度

阪神・淡路大震災は、私たちに数多くの防災対策に関する教訓を残しましたが、その教訓のひとつとして、高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防災対策がクローズアップされました。

そこで、四日市市消防本部では平成8年度から地域に密着したきめ細やかな、災害に強いまちづくりの防災対策を実施するために、防災指導員制度を創設しました。

この制度は、防災に関し豊富な知識と経験を有した人を防災指導員として任命し、ひとり暮らしの高齢者宅などの防災診断として家の中の危険な箇所や地震が発生した場合における注意点などを指導しています。

すでに、平成11年5月末で市内全地区の防災診断が一巡し、同年6月から第2回目、平成14年4月から第3回目を実施し、平成17年4月からは四巡目の診断に入っています。

(第1回目診断率 約77%・第2回目診断率 約77.5%・第3回目診断率 約78.2%・第4回目診断率 約80.2%)

地区別防災診断実施状況

(平成19年3月31日現在)

地 区		第1回 (H8.6~ H11.5)	第2回 (H11.6~ H14.3)	第3回 (H14.4~ H17.3)	第4回 (H17.4~ H20.3)	総 合 計
訪問世帯数	合計	3,122	3,528	3,887	3,084	13,621
	ひとり暮らし高齢者宅	2,966	3,380	3,715	2,873	12,934
	寝たきりの高齢者宅等	123	84	87	181	475
	障 害 者 等	33	64	85	30	212
診断世帯数	合計	2,406	2,733	3,040	2,740	10,919
	ひとり暮らし高齢者宅	2,280	2,601	2,892	2,533	10,306
	寝たきりの高齢者宅等	100	69	72	178	419
	障 害 者 等	26	63	76	29	194

防災指導員による指導状況

(平成19年3月31日現在)

	指導内容	件 数
防 火 管 理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	14
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	67
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等により問題があり火災予防上危険である。	17
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	43
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	43
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	19
	電気配線が適切でない。	69
	屋内の整理整頓が必要である。	110
	少量危険物等技術上の基準に不適であり危険。	5
地 震 対 策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	6
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	877
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	262
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内にあり、地震が発生した場合、転倒の危険がある。	7
指 導 件 数 合 計 (重 複 該 当 有 り)		1,539

防火・防災教室の経緯と現状

平成19年4月1日

1. 防災教育の目的	阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおり、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図る。
2. 活動実績 (1) 防災教室 (原則として中学1年生を対象として1学期に実施)	管内の中学1年生を対象として平成8年度からモデル校を指定して試行的に実施。 平成12年度から管内の中学校（私立中を含む）23校で本格的に運用を開始。平成13年度には、管内の全校28校にて実施。 <ul style="list-style-type: none">・ 平成15年度実施校（28校・3,337人）・ 平成16年度実施校（28校・3,378人）・ 平成17年度実施校（28校・3,243人）・ 平成18年度実施校（28校・3,410人）
(2) 防火教室 (原則として小学5年生を対象として2学期に実施)	管内の小学5年生（一部の小学校では4年生）を対象として昭和56年度より管内の小学校を対象として実施。 平成10年度から管内の小学校（私立小を含む）44校で実施すると共に教本「みんなで防火」を全部改正し、本格的に運用を開始。平成13年度には、管内の全校45校にて実施 <ul style="list-style-type: none">・ 平成15年度実施校（45校・3,475人）・ 平成16年度実施校（44校・3,608人）・ 平成17年度実施校（45校・3,737人）・ 平成18年度実施校（45校・3,377人）
3. 標準カリキュラム (1) 防災教室（中学生） (全体3時限、分割有)	(ア) 避難訓練及び教諭の講話（学校主体） (イ) スライド等を活用した防災講話 (ウ) 応急手当の実技指導（止血、固定、搬送法）等
(2) 防火教室（小学生） (全体2時限、連続)	(ア) テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話 (イ) 体験実技 <ul style="list-style-type: none">・ 水消火器による模擬消火体験・ スモークマシンによる煙体験・ 天ぷら油火災シュミレーション